



15～18 世紀ネーデルラントと オランダ美術における複製／コピー

日時：2023年3月4日（土）13：00～17：30 （開場：12：30）
場所：明治学院大学 白金キャンパス本館2階1255教室
Zoomによるライブ配信あり

申し込み：google フォーム（下記 URL または QR コード）より
2月28日までにお申し込みください。（参加無料）



主催：科研基盤研究(C) JP17K02317（研究代表：青野純子「農民画礼賛：18世紀国際絵画市場におけるオランダ絵画趣味と蒐集」）

共催：明治学院大学文学部芸術学科、明治学院大学言語文化研究所

<https://forms.gle/PmMjqJHeiAeR3Hr7A>



15～18 世紀ネーデルラントと オランダ美術における複製／コピー

日時：2023 年 3 月 4 日（土）13：00～17：30 （開場：12：30）

場所：明治学院大学 白金キャンパス本館 2 階 1255 教室

Zoom によるライブ配信あり

最新情報：<https://www.meijigakuin.ac.jp/art/news/>

プログラム

13:00～13:15 開会挨拶・趣旨説明：青野純子（明治学院大学教授）

<第 1 部：15～16 世紀> 司会：深谷訓子

13:15～14:00 今井澄子（大阪大谷大学教授）

ロヒール・ファン・デル・ウェイデン作《フィリップ善良公の肖像》
の複製と「ブランド」をめぐる一考察

14:00～14:45 廣川暁生（明治学院大学他兼任講師）

ピーテル・ブリューゲル（父）作《スケート滑りと鳥罾のある冬景色》
の受容をめぐるピーテル 2 世のコピーの果たした役割についての一考察

14:45～15:00 休憩

<第 2 部：17～18 世紀> 司会：今井澄子

15:00～15:45 深谷訓子（京都市立芸術大学准教授）

アダム・エルスハイマー作品の複製とその作用

15:45～16:30 青野純子（明治学院大学教授）

色と光を描く—18 世紀オランダの複製素描をめぐる一考察

16:30～16:45 休憩

16:45～17:30 ディスカッション（モデレーター：青野純子）

* 閉会后引き続き会場にて「交流会（会場でのみ開催・飲食なし）」を予定しています。

表面の図版：左上から時計回りに（全て部分図）ロヒール・ファン・デル・ウェイデン工房《フィリップ善良公の肖像》1450年頃、油彩・板、マドリッド、レアル宮；ピーテル・ブリューゲル（父）

《スケート滑りと鳥罾のある冬景色》1565年、油彩・板、ブリュッセル、ベルギー王立美術館；ヤコブス・パウス（デ・ホーホに基づく）《鴨の羽をむしる女のいる室内》1779年、インク、水彩、

ハーグ、国立美術史研究所；ヘンドリック・ハウト（エルスハイマーに基づく）《ヘカベの家のケレス》1610年、エングレーヴィング、ニューヨーク、メトロポリタン美術館。

アクセス： 都営浅草線「高輪台」駅下車A2番出口徒歩約10分
東京メトロ南北線「白金台」駅下車2番出口徒歩約10分
JR「目黒」駅、「品川」駅より都バス(品93系統)で10分「明治学院前」下車
<http://www.meijigakuin.ac.jp/access/shirokane/>(キャンパス案内)

お問い合わせ： 明治学院大学文学部芸術学科共同研究室
Tel：03-5421-5380 Mail：art@ltr.meijigakuin.ac.jp